

## 日本地質学会 2019 年度第 3 回理事会議事録

日時：2019 年 11 月 30 日（日）14:00～17:00

会場：千代田壽ビル 10 階会議室（千代田区神田紺屋町 14）

出席役員 理事（30 名）：天野一男 石橋 隆 磯崎行雄 ウォリス サイモン 大藤 茂 緒方信一  
岡田 誠 折橋裕二 狩野彰宏 神谷奈々 北村有迅 小松原純子 小宮 剛 斎藤 眞 坂口  
有人 佐々木和彦 菖蒲幸男 杉田律子 竹内 誠 田村芳彦 辻森 樹 中澤 努 奈良正和  
西 弘嗣 早坂康隆 平田大二 星 博幸 保柳康一 松田博貴 道林克禎

欠席役員 理事（20 名）：安藤寿男 井龍康文 岩井雅夫 笠間友博 亀尾浩司 亀田 純 川端清司  
沢田 健 菅沼悠介 高嶋 洋 竹下 徹 田村嘉之 楡井 久 廣木義久 福富幹男 三田村  
宗樹 矢島道子 山口耕生 山路 敦 山崎晴雄 監事（2 名）：藤本光一郎 山本正司

\* 成立要件：理事総数 50 名の過半数 26 名 本日の出席者 30 名で本理事会は成立。

\* 議決：出席者の過半数 15 名

\* 開催にあたって、北村理事および坂口理事を書記に指名した。

### 報告事項

#### 1. 執行理事会報告（斎藤常務理事）【執行理事会議事録 2019-4 回以降】

斎藤常務理事から 10 月および 11 月の執行理事会の議事報告があった。

#### 2. 理事および委員会等報告

##### 1) アイランドアーク編集委員会（田村理事）

田村編集長より投稿および出版状況の説明があった。学会公式の国際誌として IF が低い事に対する強い危機感が表明され、理事をはじめ多くの会員の投稿が呼びかけられた。

##### 2) その他

- ・ JpGU の国際化について：ウォリス理事（JpGU 副会長）より、JpGU 大会の国際化推進の呼びかけに応じて、地質学会から提案されたセッションは地域地質等一部セッションを除いて大部分が英語セッションとなった旨、報告があった。JpGU としてはさらに国際化・英語化を進めていくとのこと。セッション英語化の推進について賛否意見がでた。

### 審議事項

#### 1. 総会の日程について（斎藤常務）

斎藤常務理事から総会日程の提案が下記の通り了承された。

日程：2020 年 5 月 23 日（土） 会場 北とびあ

#### 2. 外部監事候補者の推薦について（斎藤常務）

斎藤常務理事から外部監事として現監事の山本正司氏を再び推薦することが提案され、提案通り了承された。

#### 3. 名誉会員推薦委員会委員の選出・承認について（佐々木副会長）

名誉会員推薦委員会委員について佐々木副会長より職階委員が、斎藤常務理事から理事会代表委員として下記の通り提案があり、了承された。また、理事会代表委員を選出した。

委員長：佐々木和彦（副会長），

職責委員（各支部長）：竹下 徹（北海道）・林 信太郎（東北）・山崎晴雄（関東）・大藤 茂（中部）・三田村宗樹（近畿）・西山賢一（四国）・早坂康隆（西日本）

職階委員：渡部芳夫（官公庁）・米澤正弘（小中高）・向山 栄（会社）・木村 学（大学）

理事会代表委員：保柳康一

4. 2019年度事業計画に照らした本年度実績概要（案）（松田会長）  
今月までの実績を反映した「2019年度事業計画に照らした本年度実績概要（案）」が松田会長から示され，原案のまま了承された。
5. 2020年度事業計画骨子（案）（松田会長）  
2020年度の事業計画骨子（案）が松田会長から示された。細部について質問，追加希望などが挙げられ，ブラッシュアップすることで了承された。
6. 事務局契約職員の人事について（佐々木副会長）  
事務局体制の現状について，そして対応策が佐々木副会長より下記の通り報告と提案があった。提案通り了承された。
  - ① 今年4月16日に事務局の契約職員として採用した植田律子氏は，本人の申し出により11月19日付で退職した。
  - ② 退職により年末にかけての多忙な事務局業務に対応するため，急遽アルバイト募集を行うこととした。後日2名を採用。
  - ③ 今後の恒常的な事務局員不足を解消するため，12月からハローワークに募集依頼を行って後任の契約職員を1名採用したい。
7. 学会組織の再編について（佐々木副会長）  
学会組織の現状と課題について佐々木副会長より報告があり，活動が不活発な委員会の動向把握と存続の判断を含め，学会規則に沿った委員会組織の再編を進める方針が提案された。若干の趣旨の確認が行われ，この方針で議論を進めることが了承された。
8. 学術大会講演要旨集の電子化に関わる検討（岡田理事）  
岡田理事より学術大会の要旨の電子化について提案があった。演題登録からプログラム編成，冊子編集の負担削減およびミス防止が図れる。ただし印刷の冊子体がなくなり，ネット公開のサーバーがJ-STAGEからConfitサーバーに移る。人的負担，プログラム編成のための旅費，編集・印刷経費は大幅に削減されるが，システム利用料がかかるため経費的な差はほとんどない。将来的な会員減を想定すると容易に変更できない固定費となる懸念がある。本件について会員に広く意見聴取を行いたいとの説明があった。これに対して，大会会場のネット環境を配慮する必要がある，社会の動向として印刷物を減らすべき，Confitサーバーに要旨データをアーカイブすると他社サービスに移行できなくなる，要旨の引用ルールなどについて議論され，2020年1月の執行理事会後に会員にメリット・デメリットを示して広く意見聴取することになった。
9. 各賞選考規則の改正について（小さなESの名称変更を含む）（磯崎理事／星理事）
  - ・学術大会の「小さなEarth Scientistの集い」の名称を変更する方針が星理事から提案された。4月の理事会を旨して新名称にする方針が了承された。
  - ・各賞選考委員会の選考方法および委員構成の課題について磯崎理事から説明がなされ，再検討する方針が提案され了承された。

10. 地質学雑誌の投稿にかかる書類の改正

保証書および著作権譲渡等同意書の署名捺印に関する記述が不統一であるので、署名(捺印不要)に統一して修正する提案がなされ、承認された。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び出席監事・理事は次に記名・捺印する。

2019年 12月 23日

理事会議長 杉田律子

理事会副議長 道林克禎

代表理事：会長 松田博貴

(以下、出席理事氏名省略)

[次回理事会予定]

2020年4月4日(土) 14:00～17:00 北とぴあ901会議室(北区王子, JR京浜東北線王子駅下車)